

各位

2023年11月9日
KNT-CTホールディングス株式会社
コーポレート・コミュニケーション部：梅津、岩本
TEL：03-5325-8547

旅行取扱状況の概観（令和5年9月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト、近畿日本ツーリストブループラネット、クラブツーリズム、ユナイテッドツアーズ、KNT 商事の合算額となります。

記

国内旅行の取扱額は、一般団体は2018年度比55.2%、学生団体は同105.3%、団体旅行合計では同80.0%となった。企画旅行については2018年度比69.2%となった。

この結果、国内旅行総取扱額としては、2018年度比69.9%と2018年度を下回った。

海外旅行の取扱額は、一般団体は2018年度比94.7%、学生団体は同72.8%、団体旅行合計では同88.8%となった。企画旅行については2018年度比31.3%となった。

この結果、海外旅行総取扱額としては、2018年度比45.1%と2018年度を下回った。

訪日旅行は、2018年度比189.2%と2018年度を上回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の9月の総取扱額は、前年比128.4%と前年を上回る結果となったものの、2018年度比70.4%と2018年度を下回った。

【区分別の状況】

1. 国内旅行

国内団体については、大型案件の取扱いが取扱額の数値の底上げをしたものの、企業系コンベンションや職場旅行については取扱額が減少し、2018年度比55.2%となった。学生団体は、修学旅行では、取扱件数が増加し、2018年度比110.6%となった。修学旅行以外の学生団体においては、遠足（校外学習）等の取扱いが増加したが、2018年度には及ばない結果となり、2018年度比89.3%となった。この結果、国内団体旅行合計では2018年度比105.3%となった。

国内企画旅行については、2018年度比69.2%となった。国内自社企画（フリー型商品）では、前月に引き続き、ウェブ広告の断続的な中断等により、2018年度比40.0%となった。クラブツーリズム国内（添乗員付商品）では、航空機・JR利用の旅行が好調に推移したものの、2018年度比89.0%となった。

以上の結果、国内旅行の総取扱額としては、2018年度比69.9%となった。

2. 海外旅行

海外団体では、企業系コンベンションや職場旅行の大型案件の実施により取扱額が増加し、2018年度比94.7%となった。学生団体は、留学、語学研修取扱額が伸びたものの、修学旅行の取扱額の減少等により、2018年度比72.8%となった。この結果、海外団体旅行合計では2018年度比88.8%となった。

海外企画旅行については、2018年度比31.3%となった。海外自社企画（フリー型商品）では、商品ラインナップや価格設定が市場にマッチせず、販売が低迷。クラブツーリズム海外（添乗員付商品）は、中欧などヨーロッパが堅調に推移したものの、全体としては2018年度には及ばなかった。

以上の結果、海外旅行の総取扱額としては、2018年度比45.1%となった。

3. 訪日旅行

訪日旅行については、大型スポーツイベント等の大型案件などが大きく貢献した。また、10月から料金改定となる JAPAN RAIL

PASS の駆け込み需要の増加と、訪日個人旅行者向けオンライン宿泊販売の好調が続き、訪日旅行の総取扱額としては、2018年度比189.2%となった。

以 上

※前年実績においては新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け比較対象としては異常値となることから 2018 年度との比較にて表記。